

## 平成30年産 紀南の梅産地情報

2018/03/01

1. 今年の梅の開花は、1月末から2月にかけて低温が続いた影響で、主力の南高の満開は2月24日と、平年より10日程度遅くなった。

開花期間中は暖かい日が続き、授粉樹の小梅との開花もほぼ揃っている。



(平地標準調査地 田辺市中三栖)

品種 \ 年	平成 (H20~29)	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	
小梅	開花始め	2/5~7	2/15~16	2/3	2/9	2/19
	満開期	2/14~16	2/21~22	2/14	2/18	2/24
	開花終期	2/27~28	3/2~3	2/27	3/1	
	開花期間	24 日	17 日	25 日	21 日	
古城	開花始め	2/14~15	2/21~22	2/12	2/18	2/24
	満開期	2/22~23	2/28~3/1	2/18	2/26	
	開花終期	3/8	3/9~10	3/8	3/16	
	開花期間	23 日	18 日	26 日	27 日	
南高	開花始め	2/6~7	2/15~16	2/3	2/7	2/19
	満開期	2/14~15	2/20~21	2/12	2/16	2/24
	開花終期	2/27~28	3/2~3	2/25	2/27	
	開花期間	23 日	17 日	23 日	21 日	
作柄		開花期間短い 5月生育前進 やや不作	5月生育前進 やや不作	低温生育遅れ 5月高温少雨 不作		

2. 1月19日の着蕾調査によると、1年枝100節当たりの平均着蕾数は、南高では前年・平年並みであり、古城では前年・平年より多くなった。小梅では前年並で、平年よりやや多くなった。

基準園の着蕾数 (1年枝100節当たりの平均着蕾数)

品種 \ 年	平成 30 年	平成 29 年	平年	前年比	平年比
小梅	103.0	105.0	93.3	98%	110%
古城	101.3	84.5	89.0	120%	114%
南高	59.3	55.6	58.5	107%	101%

3. 今年産の作柄は、開花から収穫期までの気象変化等により大きく左右されるため、現時点で具体的な予測はできない。